

対ウガンダ共和国 事業展開計画

基本方針 (大目標)	経済成長を通じた貧困削減と地域格差是正の支援
---------------	------------------------

重点分野1 (中目標)	経済成長を実現するための環境整備
----------------	------------------

開発課題1-1 (小目標)  質の高い 経済インフラ開発	<p><b>【現状と課題】</b> ウガンダ政府は「第三次国家開発計画」(NDPⅢ)において、持続的な経済成長に力点を置いて貧困削減を目指しており、その具体的な目標の一つに、良質で生産性の高い社会基盤の整備強化が掲げられている。内陸国であるウガンダにおいては、貨物及び旅客運搬輸送に占める陸上運輸の割合が全体の約96%であることから、持続的な経済成長を達成するには陸上輸送網の整備が必須である。しかし、道路舗装率は国道で20%、道路全体では約4%にすぎず、加えて、経済の中心である首都カンパラ市では深刻化する渋滞が社会経済活動を阻害する要因となっていることや既存道路・橋梁の維持管理面における課題が顕在化しており、これらの課題の解決が急務である。 また、持続的な経済成長において質・量ともに安定した電力供給も不可欠である。近年の経済成長を背景に、電力需要は年率約10%増で推移しており、ウガンダ政府は豊富な水資源を利用した水力発電を主とする電源開発を推進し、供給量で一定の成果をあげている。しかし、送変電設備の整備がそれに追いついておらず、頻発する停電や不安定な電圧による脆弱性は、産業振興や投資環境整備を図るうえで大きなマイナス要因となっている。一方、地方電化率は現在も10%強であり、このことが地方部における教育や保健等の社会サービスの安定的な提供を妨げる要因の一つと認識されている。こうした背景から、安定的な電力供給はウガンダの開発政策の中でも最重点分野の一つとなっており、中長期的な送配電網の整備、地方電化率向上への支援は肝要である。 加えて、首都圏カンパラ市外の人口増加率は8%を超えており、無計画に都市圏が拡大及びスラム形成が発生している。これらの状況が継続することで、基礎インフラや公共社会サービスの不足・悪化が見込まれている。上下水道の不備や廃棄物の不適切な処理等に伴う劣悪な衛生環境による都市感染症リスクを含め、都市環境悪化に対応するレジリエンスのある都市構造及び都市インフラ整備支援が必要である。</p>	<p><b>【開発課題への対応方針】</b> 内陸国ウガンダの経済成長に不可欠な、円滑な物流及び安定的なエネルギー供給を実現するために、日本の技術や知見を活かし、広域インフラ整備(道路及び電力)や首都機能の改善(渋滞改善・送変電能力の改善、環境に留意した都市構造・インフラ整備)に貢献する。</p>																																																																																															
	<table border="1"><thead><tr><th data-bbox="259 839 427 1315" rowspan="2">協力プログラム名</th><th data-bbox="427 839 1256 946" rowspan="2">案件名</th><th data-bbox="427 946 1256 999" rowspan="2">スキーム</th><th colspan="5" data-bbox="1256 839 1809 882">実施期間</th><th data-bbox="1809 839 1910 946" rowspan="2">支援額 (億円)</th><th data-bbox="1910 839 2011 946" rowspan="2">SDGs</th><th data-bbox="2011 839 2166 946" rowspan="2">備考</th></tr><tr><th data-bbox="1402 882 1462 946">2023 年度 以前</th><th data-bbox="1462 882 1523 946">2024 年度</th><th data-bbox="1523 882 1583 946">2025 年度</th><th data-bbox="1583 882 1644 946">2026 年度</th><th data-bbox="1644 882 1704 946">2027 年度</th><th data-bbox="1704 882 1765 946">2028 年度</th></tr></thead><tbody><tr><td data-bbox="259 946 427 999" rowspan="7">運輸・交通網改善 プログラム</td><td data-bbox="427 946 1256 999">ナイル架橋建設計画</td><td data-bbox="1256 946 1402 999">有償</td><td data-bbox="1402 946 1462 999">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1462 946 1523 999">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1523 946 1583 999">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1583 946 1644 999">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1644 946 1704 999">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1704 946 1765 999">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1809 946 1910 999">141.16</td><td data-bbox="1910 946 2011 999">8,9</td><td data-bbox="2011 946 2166 999">追加借款49.18億円 含む</td></tr><tr><td data-bbox="427 999 1256 1051">カンパラ立体交差建設・道路改良計画</td><td data-bbox="1256 999 1402 1051">有償</td><td data-bbox="1402 999 1462 1051">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1462 999 1523 1051">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1523 999 1583 1051">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1583 999 1644 1051">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1644 999 1704 1051">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1704 999 1765 1051">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1809 999 1910 1051">199.89</td><td data-bbox="1910 999 2011 1051">9,11</td><td data-bbox="2011 999 2166 1051"></td></tr><tr><td data-bbox="427 1051 1256 1104">カンパラ市交通管制改善計画</td><td data-bbox="1256 1051 1402 1104">無償</td><td data-bbox="1402 1051 1462 1104">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1462 1051 1523 1104">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1523 1051 1583 1104">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1583 1051 1644 1104">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1644 1051 1704 1104">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1704 1051 1765 1104">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1809 1051 1910 1104">25.48</td><td data-bbox="1910 1051 2011 1104">9,11</td><td data-bbox="2011 1051 2166 1104"></td></tr><tr><td data-bbox="427 1104 1256 1157">カンパラ市交通管制アドバイザー</td><td data-bbox="1256 1104 1402 1157">個別専門家</td><td data-bbox="1402 1104 1462 1157"></td><td data-bbox="1462 1104 1523 1157">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1523 1104 1583 1157">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1583 1104 1644 1157">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1644 1104 1704 1157">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1704 1104 1765 1157">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1809 1104 1910 1157"></td><td data-bbox="1910 1104 2011 1157">9,11</td><td data-bbox="2011 1104 2166 1157"></td></tr><tr><td data-bbox="427 1157 1256 1209">道路整備・維持管理能力向上アドバイザー</td><td data-bbox="1256 1157 1402 1209">個別専門家</td><td data-bbox="1402 1157 1462 1209">■■</td><td data-bbox="1462 1157 1523 1209"></td><td data-bbox="1523 1157 1583 1209"></td><td data-bbox="1583 1157 1644 1209"></td><td data-bbox="1644 1157 1704 1209"></td><td data-bbox="1704 1157 1765 1209"></td><td data-bbox="1809 1157 1910 1209"></td><td data-bbox="1910 1157 2011 1209">9,11</td><td data-bbox="2011 1157 2166 1209"></td></tr><tr><td data-bbox="427 1209 1256 1262">運輸・交通分野の課題別研修</td><td data-bbox="1256 1209 1402 1262">課題別研修他</td><td data-bbox="1402 1209 1462 1262"></td><td data-bbox="1462 1209 1523 1262">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1523 1209 1583 1262">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1583 1209 1644 1262">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1644 1209 1704 1262">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1704 1209 1765 1262">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1809 1209 1910 1262"></td><td data-bbox="1910 1209 2011 1262">9,11</td><td data-bbox="2011 1209 2166 1262"></td></tr><tr><td data-bbox="427 1262 1256 1315">建設設備操作訓練施設整備計画(UNIDO連携)</td><td data-bbox="1256 1262 1402 1315">無償</td><td data-bbox="1402 1262 1462 1315"></td><td data-bbox="1462 1262 1523 1315">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1523 1262 1583 1315">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1583 1262 1644 1315">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1644 1262 1704 1315">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1704 1262 1765 1315">■■■■■■■■■■</td><td data-bbox="1809 1262 1910 1315">2.62</td><td data-bbox="1910 1262 2011 1315">8,9</td><td data-bbox="2011 1262 2166 1315"></td></tr></tbody></table>	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間					支援額 (億円)	SDGs	備考	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	運輸・交通網改善 プログラム	ナイル架橋建設計画	有償	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	141.16	8,9	追加借款49.18億円 含む	カンパラ立体交差建設・道路改良計画	有償	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	199.89	9,11		カンパラ市交通管制改善計画	無償	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	25.48	9,11		カンパラ市交通管制アドバイザー	個別専門家		■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■		9,11		道路整備・維持管理能力向上アドバイザー	個別専門家	■■							9,11		運輸・交通分野の課題別研修	課題別研修他		■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■		9,11		建設設備操作訓練施設整備計画(UNIDO連携)	無償		■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	2.62	8,9		
	協力プログラム名				案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考																																																																																		
		2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度			2026 年度	2027 年度	2028 年度																																																																																								
	運輸・交通網改善 プログラム	ナイル架橋建設計画	有償	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	141.16	8,9	追加借款49.18億円 含む																																																																																					
		カンパラ立体交差建設・道路改良計画	有償	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	199.89	9,11																																																																																						
		カンパラ市交通管制改善計画	無償	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	25.48	9,11																																																																																						
		カンパラ市交通管制アドバイザー	個別専門家		■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■		9,11																																																																																						
道路整備・維持管理能力向上アドバイザー		個別専門家	■■							9,11																																																																																							
運輸・交通分野の課題別研修		課題別研修他		■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■		9,11																																																																																							
建設設備操作訓練施設整備計画(UNIDO連携)		無償		■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	2.62	8,9																																																																																							

開発課題 1-1 (小目標) 質の高い 経済インフラ開発	電力供給強化 プログラム	カンバラ首都圏送変電網整備計画	有償							136.59	7	
		送電系統保護能力向上プロジェクト	技プロ							4.55	7	
		電力分野の課題別研修	課題別研修他								9	
	都市開発・都市 環境プログラム	カンバラ首都圏都市開発マスタープランプロジェクト	開発計画							3.94	11	
		都市分野の課題別研修	課題別研修他								11	
		長期研修「持続可能な都市開発」	課題別研修他								9,11	
その他	ODAローン・援助調整アドバイザー	個別専門家								9		
	ODAローンアドバイザー	個別専門家								9	有償勘定技術支援	

**重点分野 2 (中目標)** **産業振興・基盤強化**

<p><b>【現状と課題】</b> ウガンダは農業生産に適した土壌を有している。同国の就労人口の72%は農業従事者であり、また輸出総額の33%を農産物が占める。そのため、農村部における所得向上は、ウガンダ全体の経済成長に大きく貢献する。NDPⅢにて定められた農業産業化プログラムはコメを重点作物の一つとして定めている。換金作物としてコメの生産は急速に拡大しているが、粗放的な稲作が原因で単位あたり収穫量が少ない。需要・生産が増加傾向にある穀物の生産性・品質を高め、脆弱層を対象とする生産支援が必要とされている。また、普及員や研究者の稲作に関する知識の醸成はこれまでの取り組みの中で一定程度進んできてはいるものの、栽培研究や地域農業調査開発研究所での栽培試験に関しては継続した支援が求められている。近年、気候変動の影響で農作物の供給が不安定なことから、灌漑施設の整備を通じた水資源の有効利用が注目されている。しかし、農業関係者は灌漑施設整備やその維持管理のための技術や知識を十分に有していない。</p>	<p><b>【開発課題への対応方針】</b> 農村部の所得向上のために、「アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）フェーズ2」の枠組みに基づき、ネリカ米等優良品種の普及を含む環境保全型稲作の振興を通じて、ウガンダにおけるコメの増産及び生産性の向上を支援していく。 また、ウガンダにおける稲作関連の研究機関の能力強化及び研究と普及の連携強化を支援していく。さらに、灌漑関連の人材育成及び灌漑施設の維持管理体制の構築を通じて、水稲作の生産性及び収益性の向上を支援していく。また、こうしたコメの増産及び生産性の向上を通じて、CARDフェーズ2が掲げる「サブサハラ・アフリカのコメ生産を2030年までの12年間で倍増する」という目標に貢献する。</p>
--	---

開発課題 2-1 (小目標) 農村部の所得向上	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
コメ振興 プログラム		アタリ流域地域灌漑施設整備計画	無償							27.90	2	
		アタリ流域地区維持管理能力強化プロジェクト	技プロ							3.62	2	
		コメ振興プロジェクトフェーズ2	技プロ							7.18	2	
		持続的なコメ振興プロジェクト(Eco-PRiDe)	技プロ							6.00	2, 12	
		コメ振興分野の課題別研修	課題別研修他								2	
		長期研修「食糧安全保障のための農業ネットワーク(Agri-Net)」	課題別研修他								2	
		コメ振興分野のJICA海外協力隊	JOCV								2	
		農家向けラストマイルデリバリーサービスにかかるビジネス化実証事業	SDGs BVS								2	

開発課題2-1 (小目標) 農村部の所得向上	その他	畜産振興分野の草の根技術協力プロジェクト	草の根技協	■								2			
		畜産振興分野の課題別研修	課題別研修他	■	■								2		
		畜産振興分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■	■	■	■	■				2		
		農業計画アドバイザー	個別専門家	■	■	■							2		
		農業・農村開発分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■							2		
		生活・収入向上支援分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■	■	■	■	■				2		
		農業分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO	■								1.80		1,2,5,8	
		ウガンダ国干ばつでの植物生育を促進するバイオスティミュラントにかかるとビジネス化実証事業	SDGs BVS		■	■								2, 13	
開発課題2-2 (小目標) 民間セクターの競争力と雇用創出力の向上	【現状と課題】 ウガンダ政府はNDPⅢ施行期間中での中所得国入りを目指しており、未発達な産業の高度集約化、高付加価値化による国際競争力の強化が喫緊の課題となっている。さらに、増加する人口に対して、雇用吸収できる企業が育っていないことも課題となっており、これらの課題の解決が急務である。他産業への波及効果も見込めるITセクターを中心に、民間セクターの需要に応えることができる能力の高い労働力の育成を推進するとともに、本邦企業等による投資を促す環境整備や産業の競争力強化が必要である。		【開発課題への対応方針】 IT産業を中心に、ヒト・モノ・カネの流れ、それらを取り巻く環境及び法制度に総合的に取り組み、IT産業が経済成長をけん引する環境整備に貢献し、更にDXを通じて高い競争優位性を確立する。さらに、起業家支援に重点を置き、社会的インパクトを生み出すビジネス育成を通じた産業振興を促進する。いずれの取り組みにおいても、本邦企業とウガンダ企業及び人材との連携強化を支援し、本邦企業の進出の後押しを目指す。												
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考			
	民間セクター 開発・雇用促進 プログラム	ICT産業振興プロジェクト	技プロ	■	■	■	■				6.69	8,9			
		民間セクター開発分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■						8,9			
		起業家支援・エコシステム強化アドバイザー	個別専門家	■	■	■						8,9			
	その他	職業訓練教育分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■						8,9			
		職業訓練教育分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■	■	■	■	■			8,9			
		アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)	課題別研修他	■	■	■	■	■	■			8,9			

重点分野3 (中目標)	社会サービスへのアクセスと質の改善											
開発課題3-1 (小目標)  強靱な保健システムの構築	<b>【現状と課題】</b> ウガンダでは増加する人口に対する保健システム・財政への負担増大、母子保健などの必須保健医療サービスへの公平なアクセス、提供されるサービスの体制（施設・機材を含む）及びその質、医療従事者の不足等が課題となっており、5歳未満児及び妊産婦の死亡率、HIV/AIDSやマラリア等の感染症による死亡等、またこれらの地域及び経済格差について、未だ改善が必要な状況にある。同国は保健省戦略計画（2020/21-2024/25）において、保健制度の改善と強化を優先課題として掲げ、サービスの拡大、医療の質及び安全性の向上、効率及び効果の向上、監督機能の強化等を目標として挙げている。					<b>【開発課題への対応方針】</b> 新興・再興感染症等への対応を強靱化し、人々の生活の基盤となる健康を守る体制作りを推進すべく「JICA世界保健医療イニシアティブ」の推進及びユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成への貢献を目指し、地域中核医療施設の改修及び機材の改善を無償資金協力を通じて引き続き実施していく。また、ウガンダ保健省の政策として認知された5S-CQI-TQM（カイゼン・総合品質管理）のアプローチを通じて、患者安全や院内感染の防止等の質の高い保健サービスの提供及び適切な病院運営に資する協力を実施していく。加えてウガンダ及び日本国内外の民間セクターも含めた様々なアクターとの連携も促進し、地域中核病院より下位の医療機関・コミュニティレベルも含めた質の高い保健医療サービスの提供を通じた保健システムの強化を目指す。						
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間				支援額 (億円)	SDGs	備考		
	保健システム強化プログラム	経済社会開発計画(医療機材)	無償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	4.00	3	COVID-19対応
		地域中核病院における医療機材整備計画	無償							9.41	3	
		5S-CQI-TQMを通じた患者安全構築プロジェクト	技プロ							7.43	3	
		保健分野の課題別研修	課題別研修他								3	
		保健分野のJICA海外協力隊	JOCV								3	
		高性能排泄物処理剤による院内感染症対策事業に関する案件化調査	SDGs BMFS								3	
		ウガンダ国新型エアゾール防蚊剤を用いたマラリア対策にかかるニーズ確認調査	SDGs BMFS								3	
		医療・保健分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO							1.64	1,2,3,12,17	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(モロト県)
保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力		草の根無償							0.11	3	2023年度承認案件合計額	
開発課題3-2 (小目標)  安全な水へのアクセスの改善	<b>【現状と課題】</b> ウガンダ政府は、「Vision2040」において、2040年までに管路給水施設による安全な水及び衛生的なトイレへのアクセスを100%とする目標を掲げている。この目標の達成に向けてNDPⅢでは、安全な水へのアクセス率（給水率）を、2025年までに、地方部において80%、都市部において100%、改善された衛生施設へのアクセス率を95%に向上させることを目標としている。同計画の実施を担う水・環境省は、開発パートナーと共に、給水・衛生施設整備を含む統合的な課題解決へ向けた取組を実施してきている。その結果、地方部における給水率は65%（2012/13年）から69%（2019年6月、Sector Performance Report (SPR) 2019）、衛生設備へのアクセスは71%（2012/13年）から77.2%（2019年、SPR 2019）にまで改善してきている。しかしながら、地域別に比較すると、給水率は最低の地域で35%、最高の地域で94%と、大きな格差がある。また、人口増加に伴い上記アクセス率は2017/18年と比較すると減少しており、安全な水を安定的に供給するためには、給水施設の建設や改修のみならず、稼働率向上のための維持管理体制の強化が必要である。水因性疾患の抑制も引き続き喫緊の課題である。					<b>【開発課題への対応方針】</b> これまでは地方部における給水率改善に向け、技術協力プロジェクトや水の防衛隊の派遣を通じて水道事業者や村落給水の維持管理体制の強化、無償資金協力を通じて給水施設の整備に取り組んできたが、今後はウガンダ国水・環境省や国家水衛生公社の組織体制強化、人材育成を通じ、給水率の改善が必須の都市部の排水網整備や、維持管理能力の強化にも取り組んでいく。						
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間				支援額 (億円)	SDGs	備考		
	水・衛生改善プログラム	給水アドバイザー	個別専門家	2023年度以前							6	
		上下水道地域研修拠点能力強化プロジェクト	技プロ							2.68	6	
地方給水分野の課題別研修		課題別研修他								6		

重点分野4 (中目標)	平和構築・地域の安定										
開発課題4-1 (小目標) 脆弱・紛争影響地域における社会的安定・平和構築	<p>【現状と課題】</p> <p>北部回廊上の物流の拠点であると共に、大湖地域及びアフリカの角地域における安定の要衝でもあるウガンダ北部は、1980年代から20年以上にわたる反政府組織「神の抵抗軍（LRA）」による紛争の影響により、約200万人の国内避難民が発生した。2009年以降、国内避難民の帰還は進んだものの、長年に亘る内戦の影響により、他地域と比較すると、基礎インフラや地方政府の能力が著しく不十分であることから、コミュニティの機能は脆弱である。ウガンダにおいては、南北の地域間格差の是正は国全体の持続的経済成長にとって重要な課題である。、北部の西ナイル地域や西部の一部の地域は南スーダンやコンゴ（民）等の近隣国からウガンダへ逃れてきた170万人を超える難民の大半を受け入れており、受入地域（ホストコミュニティ）における教育、医療等の公的サービスの負担が増大、難民のみならず、ホストコミュニティへの支援も不可欠である。加えて、地方行政機関の開発計画に難民支援計画を含んだ統合開発計画の策定・実施が求められていることから、地方行政職員の能力向上が喫緊の課題である。</p> <p>さらに、北部地域に位置するカラモジャ地域は半乾燥地帯であり、度重なる干ばつ・洪水被害により飢饉が発生しやすく、昨今の食料価格高騰も相まって、同地域での食料不安は依然として継続している状況である。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>ウガンダ北部地域の社会安定化及び平和構築に資するため、生活基盤整備及び社会インフラ開発、難民影響地域のレジリエンス強化のための中央・地方政府の能力開発、人材育成、並びに人々の持続的な生計向上や自然資源管理を支援する。未だ脆弱な行政・コミュニティや、難民及び難民受入地域（ホストコミュニティ）に対する支援を通じた地域社会の安定と国内格差是正を目指す。なお、地域間及び異なる属性間対立の発生に繋がらないように配慮した支援を行う。</p>					
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs
			2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
	西ナイル難民受入地域国道改修計画	無償							38.21	1,2,5,16	
	経済社会開発計画(肥料)	無償							6.50	1,2	
	北部ウガンダ生計向上支援プロジェクト フェーズ2	技プロ							7.86	1,2,5,16	
	西ナイル・難民受入地域レジリエンス強化プロジェクト	技プロ							6.50	8,10,16	
	西ナイル地域アグロフォレストリーと持続的森林・自然資源管理を通じたグリーン成長促進プロジェクト	技プロ							5.00	11, 13, 15	
	難民支援アドバイザー	個別専門家								16	
	カルマ橋架け替え計画準備調査	協準								9, 16	
	西ナイル栄養改善生計向上プロジェクト	草の根技協								2, 16	
	平和構築分野の課題別研修	課題別研修他								16	
	長期研修「住民参加型の地方行政」	課題別研修他								11, 16	
	難民・ホストコミュニティ支援分野のJICA海外協力隊	JOCV								11, 16	
	社会インフラ開発分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO							0.62	1,9,13,15	道普請人
	レジリエンス強化分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO							1.77	5, 16	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(アレア県)
	難民・ホストコミュニティ支援分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO							4.22	3,4,5,6,16	難民を助ける会、ワールド・ビジョン・ジャパン、地球のステーション

その他

	案件名	スキーム	実施期間					支援額 (億円)	SDGs	備考
			2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度			
その他 個別の案件	中等理数科教育強化分野の課題別研修	課題別研修他	■■■■■						4	
	中等理数科教育強化分野のJICA海外協力隊	JOCV	■■■■■						4	
	絶滅危惧種コウム保全の地域連携モデルケース構築支援	草の根技協	■■■■■						15	
	環境・気候変動対策分野の課題別研修	課題別研修他	■■■■■						13	
	環境・気候変動対策分野のJICA海外協力隊	JOCV	■■■■■						13	
	教育分野のJICA海外協力隊	JOCV	■■■■■						4	
	教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償		■				0.53	4,5	2023年度承認案件 合計額
	生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業	草の根技協	■■■					0.12	4,5	
	SDGsグローバルリーダー	課題別研修他	■■■■■						1	

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「個別研修」(＝個別研修)、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」(＝実施期間)、「破線「- - -」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。  
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」  
【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)